

令和3年度学校評価 生徒・保護者アンケート結果

番号	1	評価項目	全教職員が教育目標を共有し、主体的に学校経営に参画する組織づくりと教育活動を推進する。				
アンケート番号	調査項目		回答数				
			計	①	②	③	④
S-1	学校は、適切に教育活動を行っている。		36	12	22	0	2
				33%	61%	0%	6%
P-1	学校は、適切に教育活動を行っている。		30	18	12	0	0
				60%	40%	0%	0%
番号	2	評価項目	安全・安心な教育環境を実現するため、危機に対応した管理システムを構築し、検証と運用・改善に努める。				
アンケート番号	調査項目		回答数				
			計	①	②	③	④
S-2	学校は、安全に学べる環境となっている。		36	15	18	2	1
				42%	50%	6%	3%
P-2	学校は、安全に学べる環境となっている。		30	20	10	0	0
				67%	33%	0%	0%
番号	3	評価項目	授業を大切にし、個に応じた細かな指導を通して学力の定着を図る。				
アンケート番号	調査項目		回答数				
			計	①	②	③	④
S-3	学校の先生は、授業を大切にし、わかりやすく教えている。		36	11	22	2	1
				31%	61%	6%	3%
P-3	私の子どもは、授業がわかりやすいと言っている。		30	14	12	4	0
				47%	40%	13%	0%
番号	4	評価項目	工業に関する知識や技術・技能の習得を目指す工業技術者・技能者としての資質を身につけさせる。				
アンケート番号	調査項目		回答数				
			計	①	②	③	④
S-4	私は、工業を学んで、ものづくりの興味・関心が高まった。		36	12	18	4	2
				33%	50%	11%	6%
P-4	私の子どもは、工業を学んで、ものづくりの興味・関心が高まった。		30	13	11	6	0
				43%	37%	20%	0%
番号	5	評価項目	基本的な生活習慣を確立させ、人権尊重の精神と社会人としてのモラルやマナーを身につけさせる。				
アンケート番号	調査項目		回答数				
			計	①	②	③	④
S-5	学校は、公共のマナーを守る指導に力を入れている。		36	7	26	2	1
				19%	72%	6%	3%
P-5	学校は、公共のマナーを守る指導に力を入れている。		30	13	15	1	1
				43%	50%	3%	3%
番号	6	評価項目	社会のルールを遵守させるなど規範意識の高揚を図る。				
アンケート番号	調査項目		回答数				
			計	①	②	③	④
S-6	私は、交通ルールなどの社会のルールを守っている。		36	14	21	0	1
				39%	58%	0%	3%
P-6	私の子どもは、交通ルールなどの社会のルールを守っている。		30	15	13	2	0
				50%	43%	7%	0%
番号	7	評価項目	いじめに関するアンケートを毎学期実施し、いじめの未然防止と実態把握に努める。万一いじめ事象が発生した場合には、いじめ対策防止委員会の主導のもと迅速に対応する。				
アンケート番号	調査項目		回答数				
			計	①	②	③	④
S-7	学校の先生は、いじめを早く発見できるように生徒をよく見ている。		36	10	23	2	1
				28%	64%	6%	3%
P-7	学校の先生は、いじめを早く発見できるように生徒をよく見ている。		30	17	10	3	0
				57%	33%	10%	0%

アンケート S生徒 P保護者 ①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない ④そう思わない

令和3年度学校評価 生徒・保護者アンケート結果

番号	8	評価項目	入学時から卒業まで計画的・系統的なキャリア教育に取り組み、自立に向けて指導する。				
アンケート番号	調査項目		回答数				
			計	①	②	③	④
S-8	学校は、進路についての情報を十分に提供している。		36	9 25%	22 61%	4 11%	1 3%
P-8	学校は、進路についての情報を十分に提供している。		29	18 62%	9 31%	1 3%	1 3%
番号	9	評価項目	自己実現が図れる環境や条件整備などに取り組む。				
アンケート番号	調査項目		回答数				
			計	①	②	③	④
S-9	私は、自分の将来のことを考えて、学習に取り組んでいる。		36	9 25%	22 61%	4 11%	1 3%
P-9	私の子どもは、自分の将来のことを考えて、学習に取り組んでいる。		30	12 40%	10 33%	7 23%	1 3%
番号	10	評価項目	あらゆる集団活動を通じ、自己の生き方や他者との関わり方、協働や労働の意義等を掴めるよう指導する。				
アンケート番号	調査項目		回答数				
			計	①	②	③	④
S-10	学校は、学校行事や学級活動を魅力あるものになるように工夫している。		36	12 33%	21 58%	2 6%	1 3%
P-10	学校は、学校行事や学級活動を魅力あるものになるように工夫している。		30	13 43%	14 47%	3 10%	0 0%
番号	11	評価項目	学級活動、生徒会活動や部活動を通じ、生徒自らが自立とソーシャル・スキルを獲得できるよう指導する。				
アンケート番号	調査項目		回答数				
			計	①	②	③	④
S-11	私は、学級や生徒会の集団活動に楽しく参加している。		36	7 19%	25 69%	2 6%	2 6%
P-11	私の子どもは、学級や生徒会の集団活動に楽しく参加している。		30	9 30%	13 43%	7 23%	1 3%
番号	12	評価項目	読書に対する意識を高めさせ、ホームルーム活動等をおして読書習慣等が身に付くよう指導する。				
アンケート番号	調査項目		回答数				
			計	①	②	③	④
S-12	私は、入学したときよりも本を読むようになってきている。		36	7 19%	15 42%	3 8%	11 31%
P-12	私の子どもは、入学したときよりも本を読むようになってきている。		30	6 20%	6 20%	9 30%	9 30%
番号	13	評価項目	生徒の健康管理と病気の予防等を適切に行うため、組織的・継続的に保健指導を推進する。				
アンケート番号	調査項目		回答数				
			計	①	②	③	④
S-13	学校は、生徒の健康管理や病気の予防にこころがけている。		36	7 19%	27 75%	1 3%	1 3%
P-13	学校は、生徒の健康管理や病気の予防にこころがけている。		29	13 45%	15 52%	1 3%	0 0%
番号	14	評価項目	生徒の事故・怪我・病気等に適切に対応できる管理体制と日常の相談体制の充実に努める。				
アンケート番号	調査項目		回答数				
			計	①	②	③	④
S-14	学校は、けがや病気などに適切に対応してくれる安心感がある。		36	16 44%	20 56%	0 0%	0 0%
P-14	学校は、けがや病気などに適切に対応してくれる安心感がある。		29	19 66%	8 28%	2 7%	0 0%

アンケート S生徒 P保護者 ①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない ④そう思わない

令和3年度学校評価 生徒・保護者アンケート結果

番号	15	評価項目	給食を通して、健全な生活が送れるよう食育指導を推進する。				
アンケート番号	調査項目		回答数				
			計	①	②	③	④
S-15	学校は、給食をとおして健康な生活ができるようにしている。		35	7	18	4	6
				20%	51%	11%	17%
P-15	学校は、給食をとおして健康な生活ができるようにしている。		28	15	8	5	0
				54%	29%	18%	0%
番号	16	評価項目	個々の生徒の悩みに応えるため、相談活動(カウンセリング)を推進する。				
アンケート番号	調査項目		回答数				
			計	①	②	③	④
S-16	私は、学校の先生に気軽に悩みを相談できる。		36	9	22	4	1
				25%	61%	11%	3%
P-16	学校は、子どもの悩みに適切に対応してくれる安心感がある。		29	19	8	2	0
				66%	28%	7%	0%
番号	17	評価項目	生徒の抱える多様な課題に対応するため、全教職員の生徒支援体制の確立と研修の充実を図る。				
アンケート番号	調査項目		回答数				
			計	①	②	③	④
S-17	学校は、生徒がお互いを尊重し合えるように指導されている。		36	14	17	3	2
				39%	47%	8%	6%
P-17	学校は、生徒がお互いを尊重し合えるように指導されている。		29	16	12	1	0
				55%	41%	3%	0%
番号	18	評価項目	ゴミの減量化や分別をはかり、環境美化活動を推進する。				
アンケート番号	調査項目		回答数				
			計	①	②	③	④
S-18	学校は、教室の美化やゴミの分別に熱心に取り組んでいる。		36	9	22	3	2
				25%	61%	8%	6%
P-18	学校は、教室の美化やゴミの分別に熱心に取り組んでいる。		30	14	15	1	0
				47%	50%	3%	0%
番号	19	評価項目	学校の施設・設備の安全点検や保守点検などを進め、教育環境の充実と計画的整備を進める。				
アンケート番号	調査項目		回答数				
			計	①	②	③	④
S-19	学校は、施設・設備の点検や充実に努めている。		36	9	22	4	1
				25%	61%	11%	3%
P-19	学校は、施設・設備の点検や充実に努めている。		28	14	12	2	0
				50%	43%	7%	0%
番号	20	評価項目	生徒の変容に伴う定時制工業高校の在り方を追究し、その具体化を積極的に推進する。				
アンケート番号	調査項目		回答数				
			計	①	②	③	④
S-20	私は、彦根工業高校に入学してよかった。		36	13	19	2	2
				36%	53%	6%	6%
P-20	私の子どもは、彦根工業高校に入学してよかった。		30	24	6	0	0
				80%	20%	0%	0%
番号	21	評価項目	入学前から卒業後まで、地域の関連機関との連携を図りながら、開かれた学校づくりを目指す。				
アンケート番号	調査項目		回答数				
			計	①	②	③	④
S-21	学校は、地域や関係する機関とともに、よりよい教育をしている。		36	10	25	0	1
				28%	69%	0%	3%
P-21	学校は、地域や関係する機関とともに、よりよい教育をしている。		28	16	10	2	0
				57%	36%	7%	0%

アンケート S生徒 P保護者 ①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない ④そう思わない

(別紙様式)

学校評価の活用等について（課題の改善に向けた具体的な取組み等）

○学校経営

学校教育目標達成のために、教職員間での日常のコミュニケーションを重視することにより共通の意思形成を図っており、一人ひとりの生徒理解を深めて学校づくりを推進することができている。学校評価の結果を踏まえて、さらに学校経営の改善に努めていく。

○学習指導

すべての教科において、基礎・基本を重視した授業を展開している。年間をとおして、保護者や地域および中学校関係者等への公開授業も実施できた。しかしながら、今年度もものづくりに対する意欲・関心については、生徒アンケート結果にばらつきがあり、実習教科や課題研究などで学びの充実感が得られるような工夫に取り組む。

○生徒指導

家庭訪問や面談を積極的に実施するとともに月例の生徒情報交換会を開催している。廊下監督業務を実施して教職員間での情報共有を図り、問題行動の減少につながっている。今後も基本的な生活習慣の確立、ルールやマナーの遵守、いじめの未然防止に向けた指導・支援を継続する。

○進路指導

アルバイト等の就労を奨励しており、全校生徒の約7割が就業を終えてから登校している。今後も生徒の実態に応じて適切な進路情報を提供するとともに面談指導を充実させて、卒業後の就労につながるよう支援を継続する。

○特別活動等

今年度も生徒のアンケート結果から学級や生徒会の集団活動の達成度が低いことが読み取れる。定時制高校であるため校内の施設使用に制限はあるものの、興味・関心をもって生徒が参加できる校外での特別活動を企画するなどし、自立心や社会性の向上につながる活動を支援する。

○読書指導

読書活動のHRを年2回実施して読書への意識づけの指導に取り組んでいる。図書室利用が不可能なところもあり、達成度Cと低かった。SNS機器等の影響なども念頭に入れながら、生徒が読書に興味・関心を持つことができるよう今後も継続的に創意工夫していく。

○保健・安全指導

保健だよりや給食だより等を作成配布することにより、健康管理や食育につながる情報発信ができていく。今後も生徒の保健指導だけでなく、登下校中や校内での事故防止に努める。

○人権教育

各学期にいじめアンケートとともに人権アンケートを実施し、生徒の現状把握に努めている。また、定期考査中を含め、廊下監督を配置することにより、日常的な生徒観察を効率的に実施できている。人権LHRでの生徒の積極的な参加状況も年々向上している。全日制と合同の職員研修や地域の人権教育研修会には、今後も積極的に出席して研鑽に努める予定である。

○環境教育

教員や業務員による校内清掃を毎日実施し学習環境を美しく保っている。長期休業期間の開始前日に生徒と共に実施する大掃除にも取り組めるようになった。今後は日常的な清掃活動の実施につなげて、公共心や環境を守る意識を向上させていく。

○事務・管理

授業開始前と授業時間時、放課後の当番制による校舎内巡視を継続し、施設・設備の安全点検をさらに充実させていく。

○その他学校の取り組み

主に、地域の中学校や様々な関係機関との連携を発展させ、入学した生徒の一人ひとりに丁寧な対応し、自尊心を育むことに努め、卒業後は社会へ自信をもって踏み出せるようにきめこまかな指導・支援を徹底していく。